

循環型社会の実現

廃棄物の排出量削減

省資源・3Rの推進

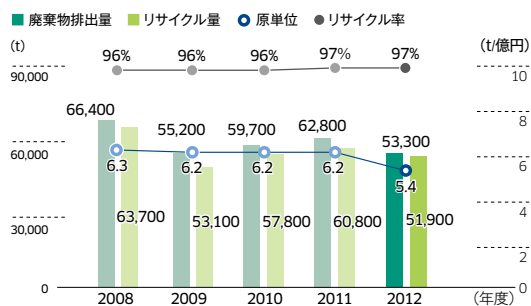
当社は、地球の限られた資源を大切に活かし切り、再使用、再資源化する事業活動・製品開発に取り組み、循環型社会の実現に貢献すべく活動を推進しています。

ゼロエミッション活動・リサイクル率の向上

当社は、社会動向を考慮して、ゼロエミッションの定義を最終処分率1%以下と定義しました。2012年度は当社の主要工場においてゼロエミッションを達成しました。

2012年度の総排出量は、基準年の原単位より23%の削減となり目標を達成しました。リサイクル率も当社全体で97%と高い値を達成維持しており、さらなる向上を目指して、活動を推進していきます。

廃棄物排出量とリサイクル率



PCB廃棄物の適正処理

当社が保有しているPCB廃棄物は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理に関する特別措置法」に従い、所轄都道府県知事に毎年6月末日までに届け出るとともに「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」および政省令に基づき、当該事業所に特別管理産業廃棄物管理責任者を選任し、保管基準に従い厳重に保管管理しています。

高濃度PCB廃棄物

高濃度PCB廃棄物については、2011年度にコンデンサ114台の処理が日本環境安全事業(株)により実施され、2012年度には同じくコンデンサ98台の処理が完了しました。引き続き、適正処理を推進していきます。

低濃度PCB廃棄物

低濃度PCB廃棄物についても処理費用の算出と確保を行い、処理事業者の認定状況や処理動向を見ながら、認定事業者で処理が適正になされていることの現地確認を行った上で、適正かつ速やかに処理可能な事業者へ処理を委託すべく、準備を進めています。



PCB排出作業状況



PCB保管倉庫

電子 manifests の導入

当社では、(公)日本産業廃棄物処理振興センターの電子 manifests システム (JWNET) と連携した社内環境情報管理システム (ECOKEEP) を2012年度から導入しました。当社全工場の環境データを一元管理するとともに、法令遵守や manifests 伝票の管理工数の削減にも寄与しています。

2013年度からは、国内連結子会社の環境情報を一元管理すべく、適応範囲を拡大していきます。

